

(令和5年5月更新)

稲沢市の福祉関係者（相談支援員・ソーシャルワーカー・専門職・担当者）の皆様へ

超解説（15分でわかる）

重層的支援体制整備事業の基礎理解

- * 稲沢市は、市役所（福祉課）と社協（福祉総合相談窓口）が協働して重層的支援体制整備事業を推進しています。（令和4年度から実施）
- * この資料は、稲沢市の福祉関係者の皆様に重層的支援体制整備事業の概要をご紹介するために作成したものです。

重層的支援体制整備事業（以後、『重層』と略します）は、

『みんなでみんなを支え合う仕組み』を創っていく事業 です

（包括的な支援体制づくり）

稲沢市は

こんな支援体制づくりを目指しています！

①現場の支援者が困難ケースを抱え込んで孤立しない支援体制

②異分野の専門職どうしが気軽に相談しあえる支援体制

③どんな困難ケースも多職種連携のチームで対応できる支援体制

なので・・・

(稲沢市で活躍する) 皆さんも

支援体制づくりの当事者です！



なぜなら・・・

稲沢市社会福祉協議会
マスコットキャラクター『福ちゃん』

支援当事者（皆さん）のご意見や想いを聞かずして
『稲沢市の包括的な支援体制』ができると思いますか？

皆さんの想いが反映されない形式的な支援体制、

『絵に書いた餅』ではダメなんです！



実際に機能する『包括的な支援体制』を創るためには、
現場の皆さんのご意見と想い（＝対話）が必要不可欠です！

重層の要は『多職種連携の強化』

何度も言いますが、稲沢市の包括的支援体制は、
あなたを含めた関係者の対話で創っていくものです！

『支援者が孤立しないような仕組み』、

『支援者どうしが互いに支え合える仕組み』を

みんなで一緒に創っていきましょう！

ここからは、稲沢市が目指す『重層』、 『包括的な支援体制づくり』の概要を解説します

- * 別添『超解説 重層的支援体制整備事業リーフレット』と『稲沢市e nモデル』
をご用意ください
(稲沢市社協のホームページからダウンロードできます！)

重要なので何度も言いますが、

皆さんも 『包括的な支援体制づくりの当事者』なので、

『批判的な思考』でご覧いただき、

様々なご意見を福祉総合相談窓口までお寄せください！



～ もくじ ～

- 1 **そもそも、重層って何？**
- 2 **なぜ、他市よりも早く取り組むの？**
- 3 **重層の特徴は？**
- 4 **稲沢市が目指す重層は？**

1 そもそも、重層って何？

- 地域共生社会（包括的支援体制）の実現を目指す事業
- 相談支援・参加支援・地域支援の一体的充実を目指す事業
- 稲沢市は令和4年度から実施（令和4年度 県内 9市1町が実施）
- 現場の支援者も支援するための仕組み創り

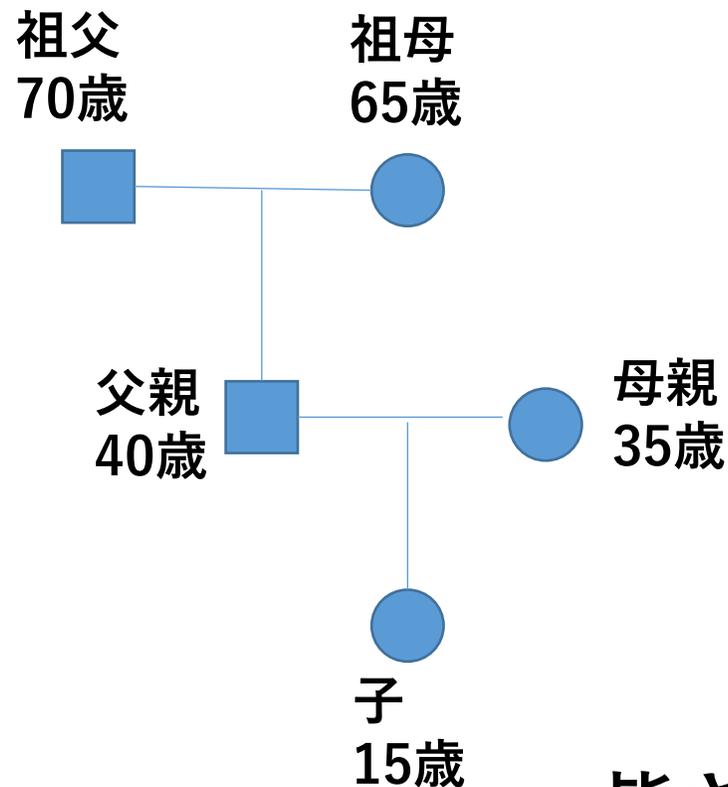
2 なぜ、他市よりも早く取り組むの？

稲沢市においても『既存の制度では、対応できない
複雑・複合的なケースが増えてきた』からです！

- 以下のようなケースが増えています（実際の相談事例）
 - ・ 複雑化・複合化したケース（8050、ヤングケアラー、育児と介護のダブルケア、家計破綻 等）
 - ・ 制度の狭間に落ちるケース（社会的孤立、ゴミ屋敷、ひきこもり、外国籍で派遣切り 等）

複雑・複合的な課題を抱えたケース（世帯）のイメージ

【実際の支援事例（一部改）】



全体	地域から孤立 税金滞納 家計破綻
祖父	がん治療中 厚生年金（生計の中心）
祖母	要介護1 認知症の疑い 老齢基礎年金
父親	職を転々 毎日ギャンブル 家族を顧みない
母親	外国籍 障がいの疑い 育児放棄の疑い
子ども	中学生 不登校ぎみ 介護と家事全般を担う

皆さんなら、どのような支援を考えますか？

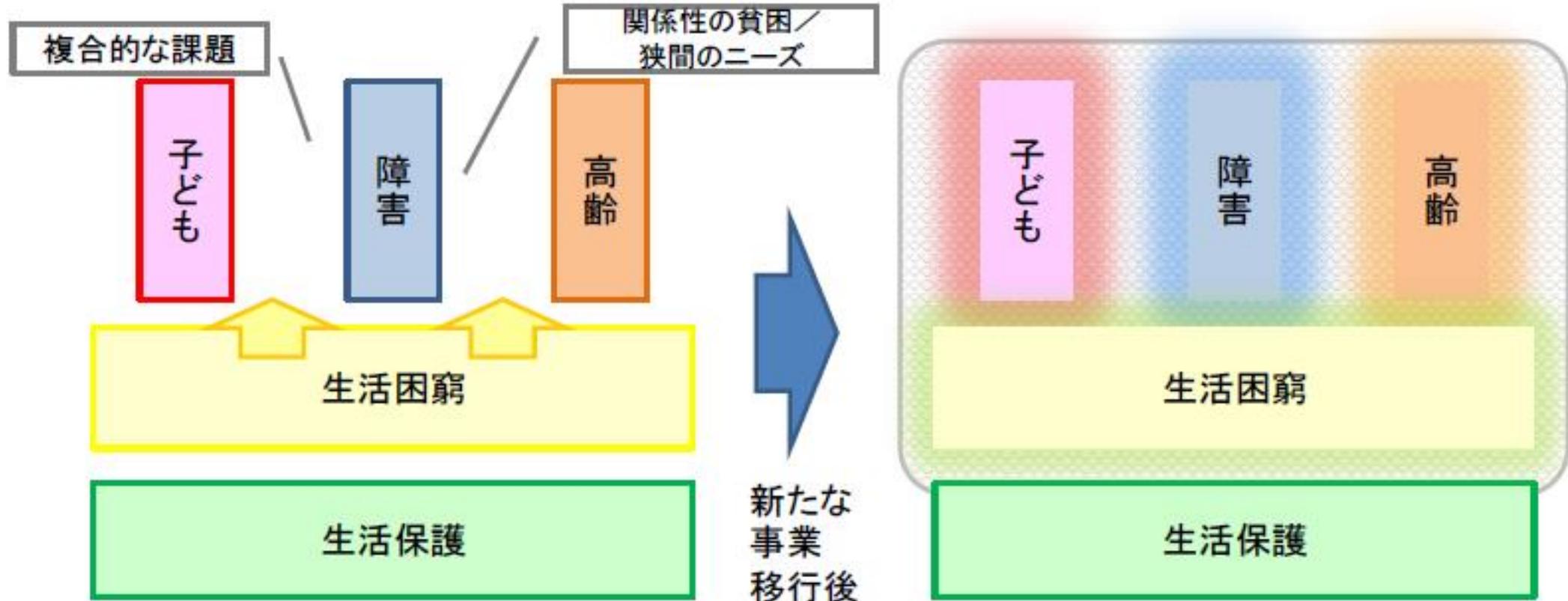
3 重層の特徴は？

各事業の法制度による（属性や年代等の）縛りが
緩和されました！

つまり、
誰もが（本業に支障がない範囲で）制度の狭間に
支援の手を差し伸べることが『可能』になりました！

このようなイメージです (厚生労働省の研修資料より引用)

稲沢市は、既に（重層に）移行していますので、
右側の『移行後の支援体制づくり』に取り組んでいくことになります！



4 稲沢市が目指す重層は？

福祉の拠点（稲沢市役所東庁舎）を中心に

『どんな相談にも対応できる包括的な支援体制づくり』

を目指します！

これから、みんなで強化するポイント

①『稲沢市e nモデル』の強化

②多職種（異業種）連携の強化（チーム支援の強化）

③関係者全員の当事者意識の強化

『稲沢市 enモデル』って何？

複雑・複合的な課題を抱えた世帯（8050, ひきこもり等）を

福祉の拠点（福祉総合相談窓口）で受け止め、

多職種連携によるチーム支援で対応するまでの流れ

（要支援者発見 から 支援開始 までのフロー図）

⇒支援事例のトライ&エラーを重ねて『enモデル』のブラッシュアップを図っています！

『稲沢市 e n モデル』

相談受付から支援開始までの流れ（概要）

① 複雑・複合課題の相談受付（福祉総合相談窓口）

② 3つの会議体で支援方針等を練り上げます

ブラッシュアップ会議 ⇒ 対策支援チーム会議 ⇒ 重層会議の3段階で支援方針を練り上げます

各会議、様々な専門職で構成され『世帯全体を俯瞰』した支援方針を検討します

必要に応じて皆さんにも『対策支援チーム会議』に参加していただくことがあります！

③ 支援チームの形成（役割分担）及び支援開始

皆さんが抱えるケースで

『複雑かつ複合的な課題を抱えた世帯のケース』

『どこにも支援が繋がっていないケース』

『一つの世帯に専門機関がバラバラに関わっているケース』等

がありましたら、福祉総合相談窓口までご相談ください！



多職種連携を強化するための提案！

皆さんにご提案ですが

①お互い、もっと伴走支援を意識しませんか？

ケースを繋ぐ際は、一定期間、専門機関どうしも一緒に伴走（同行・同席等）しませんか？

②お互い、もっと対話をしませんか？

多職種連携の要は『互いの業務に関心をもって、もっと知り合うこと』です。

何をする機関なのか？どんな思いなのか？もっと、もっと対話をしましょう！

重層の充実は、コミュニケーションの充実に比例する

多職種連携が進まない要因は、関係機関どうしの

コミュニケーションに問題がある からでは！？

であれば・・・

みんなでもっともっと『対話』をしませんか？

皆さんの研修会や会議等に福祉総合相談窓口を呼んでください！
私たちも、皆さんのことを『もっと知りたい』です！

コミュニケーションの充実こそが、重層充実の要です！

稲沢市の重層推進担当部署

お気軽にお声掛け（お電話）ください！！

社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会

福祉総合相談窓口（相談支援包括化推進員）

稲沢市稲府町1番地（稲沢市役所 東庁舎1階）

0587-23-6713（社協共通） 0587-32-1484（窓口直通）

